



2026年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月29日

上場会社名 株式会社ヤガミ 上場取引所 名
 コード番号 7488 URL <https://www.yagami-inc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 啓介
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐貫 匡 TEL 052-951-9252
 定時株主総会開催予定日 2026年7月8日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月7日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期の連結業績(2025年4月21日~2026年4月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	11,502	5.8	2,235	14.8	2,298	15.5	1,588	22.1
2025年4月期	10,875	3.1	1,946	4.5	1,991	5.7	1,301	8.2

(注) 包括利益 2026年4月期 1,614百万円(17.6%) 2025年4月期 1,372百万円(3.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年4月期	302.89	—	11.6	12.6	19.4
2025年4月期	248.17	—	9.7	10.8	17.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期	18,076	13,923	77.0	2,654.61
2025年4月期	18,546	13,553	73.1	2,583.89

(参考) 自己資本 2026年4月期 13,923百万円 2025年4月期 13,553百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年4月期	939	△1,417	△1,902	3,959
2025年4月期	1,279	△1,265	△1,280	6,340

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年4月期	—	83.00	—	91.00	174.00	912	70.1	6.8
2026年4月期	—	146.00	—	157.00	303.00	1,589	100.0	11.6
2027年4月期(予想)	—	135.00	—	145.00	280.00		99.9	

3. 2027年4月期の連結業績予想(2026年4月21日~2027年4月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	0.1	1,040	△5.0	1,070	△4.7	710	△7.5	135.36
通期	11,500	△0.0	2,170	△2.9	2,230	△3.0	1,470	△7.5	280.26

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期	5,300,000株	2025年4月期	5,300,000株
② 期末自己株式数	2026年4月期	54,864株	2025年4月期	54,801株
③ 期中平均株式数	2026年4月期	5,245,166株	2025年4月期	5,245,260株

(参考) 個別業績の概要

2026年4月期の個別業績（2025年4月21日～2026年4月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	8,234	7.0	1,483	12.8	1,978	41.1	1,508	51.7
2025年4月期	7,697	4.8	1,314	5.9	1,402	6.9	994	10.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期	287.53	—
2025年4月期	189.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期	13,819	10,724	77.6	2,044.58
2025年4月期	14,358	10,433	72.7	1,989.24

(参考) 自己資本 2026年4月期 10,724百万円 2025年4月期 10,433百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の変動	16
(2) 執行役員の変動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、中国経済の減速や中東情勢の緊迫化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰など先行き不透明な状況が続いた一方、年間を通じて学校校舎の改修工事が活発に進展したほか、民間分野ではAEDの普及拡大や半導体業界における設備投資など、国内の関連需要が旺盛に推移いたしました。また海外市場においても、円安を追い風としてアジア地域を中心に滅菌器の需要が堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、学校向け実習台や収納戸棚類の納入が期首より順調に進展したほか、AEDの新規設置および更新案件の受注獲得、保温・加熱用電気ヒーターの拡販に加え、国内およびアジア地域に対する滅菌器の販売強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高115億2百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益22億35百万円（同14.8%増）、経常利益22億98百万円（同15.5%増）となりました。また、株式会社平山製作所の完全子会社化に伴い、当期より非支配株主に帰属する当期純利益がなくなった影響で、親会社株主に帰属する当期純利益は15億88百万円（同22.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(理科学機器設備部門)

学校校舎の長寿命化改修工事に伴う実習台・収納戸棚類の納入が、工期の通年化により年間を通じて活発であったほか、国内およびアジア地域における滅菌器の販売が堅調に推移したことにより、売上高は57億84百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は11億58百万円（同19.3%増）となりました。

(保健医科機器部門)

健康診断器具など学校向け保健室設備品の販売は概ね横ばいで推移したものの、新規案件の獲得や買い替え需要の取り込み等によりAEDの売上が民間向けを中心に大きく伸長したため、売上高は29億98百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は5億44百万円（同15.9%増）となりました。

(産業用機器部門)

東アジア地域における環境試験装置の販売が伸び悩んだものの、半導体製造装置向けの国内設備投資が活発化し、保温・加熱用電気ヒーターの販売が好調だったことから、売上高は27億18百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は5億95百万円（同8.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は180億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億70百万円減少しました。これは主に、リース投資資産が4億50百万円、電子記録債権が1億43百万円、商品及び製品が1億19百万円増加した一方、有価証券及び投資有価証券が10億63百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が4億9百万円減少したこと等によるものであります。

負債は41億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億41百万円減少しました。これは主に、未払金が6億16百万円、電子記録債務が2億91百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて3億70百万円増加し139億23百万円となり、自己資本比率は77.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ23億80百万円減少し、39億59百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、9億38百万円（前年同期は12億79百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額7億20百万円、リース投資資産の増加額4億50百万円、棚卸資産の増加額2億79百万円、仕入債務の減少額2億6百万円があった一方、税金等調整前当期純利益22億95百万円、売上債権及び契約資産の減少額2億65百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、14億16百万円（前年同期は12億65百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入70億円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入2億円があった一方、定期預金の預入による支出83億円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出1億円、無形固定資産の取得による支出1億6百万円、有形固定資産の取得による支出1億4百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、19億2百万円（前年同期は12億80百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額12億42百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出6億59百万円があったこと等によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年4月期	2023年4月期	2024年4月期	2025年4月期	2026年4月期
自己資本比率（%）	69.8	71.2	72.2	73.1	77.0
時価ベースの 自己資本比率（%）	65.8	75.1	74.3	84.5	182.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（年）	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍）	517,365.9	693,361.8	577,249.0	493,456.1	104,198.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。なお、リース債務は同一条件による転リース取引によるものであり転リース差益は生じないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率算定における有利子負債からは除いております。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

文教分野においては、理科教育に係る予算措置や、学校施設の長寿命化に向けた改修事業が今後も継続すると見込まれております。

民間分野では、国内におけるAEDの普及拡大や、半導体メーカーによる設備投資への期待が続く一方で、海外市場では中国経済の減速や中東情勢の緊迫化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況のもと当社グループでは、理科実験機器の拡販や、校舎改修に伴う施設設備機器のタイムリーな提案活動を推進いたします。

民間分野においては、AED「8年保証安心パック」を中心とした独自提案により、買い替え需要の確実な取り込みと新規ユーザーの獲得を図るとともに、半導体関連企業をはじめとする主要顧客に向けて、保温・加熱用電気ヒーターの拡販を進めてまいります。また連結子会社の榊平山製作所においては、滅菌器および環境試験装置の品質向上とサービス体制の強化を通じて、アジア市場での競争力を高めるとともに、欧米など他地域への販売網の拡充に取り組んでまいります。

こうした状況を踏まえ、次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高115億円（前年同期比0.0%減）、営業利益21億70百万円（同2.9%減）、経常利益22億30百万円（同3.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益14億70百万円（同7.5%減）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月20日)	当連結会計年度 (2026年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,340,489	8,259,529
受取手形、売掛金及び契約資産	1,738,328	1,329,030
電子記録債権	837,071	980,436
リース投資資産	779,265	1,229,476
有価証券	1,200,192	—
商品及び製品	1,148,828	1,268,567
仕掛品	158,075	243,716
原材料及び貯蔵品	451,361	525,253
その他	145,220	158,228
貸倒引当金	△512	△553
流動資産合計	14,798,319	13,993,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,782,244	1,865,110
減価償却累計額	△1,267,130	△1,294,452
建物及び構築物（純額）	515,113	570,657
土地	1,346,573	1,346,573
建設仮勘定	90,885	96,754
その他	655,286	686,346
減価償却累計額	△605,329	△624,482
その他（純額）	49,957	61,863
有形固定資産合計	2,002,530	2,075,849
無形固定資産		
電話加入権	4,492	4,492
ソフトウェア	12,652	111,123
ソフトウェア仮勘定	3,648	—
無形固定資産合計	20,793	115,615
投資その他の資産		
投資有価証券	976,255	1,113,101
繰延税金資産	413,747	439,606
長期預金	300,000	300,000
その他	35,632	39,382
貸倒引当金	△329	△548
投資その他の資産合計	1,725,305	1,891,542
固定資産合計	3,748,629	4,083,007
資産合計	18,546,948	18,076,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月20日)	当連結会計年度 (2026年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,520	452,701
電子記録債務	984,296	692,336
リース債務	57,515	58,868
未払金	740,747	124,336
未払法人税等	393,615	412,965
契約負債	683,691	663,641
賞与引当金	411,124	457,143
その他	212,963	176,411
流動負債合計	3,885,475	3,038,403
固定負債		
リース債務	233,526	176,461
長期預り保証金	234,941	232,703
繰延税金負債	8,417	14,558
退職給付に係る負債	397,375	422,163
役員退職慰労引当金	201,221	220,977
その他	32,985	47,625
固定負債合計	1,108,468	1,114,490
負債合計	4,993,943	4,152,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	865,928	865,928
利益剰余金	11,839,611	12,185,237
自己株式	△34,837	△35,128
株主資本合計	13,458,002	13,803,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,003	120,462
その他の包括利益累計額合計	95,003	120,462
純資産合計	13,553,005	13,923,799
負債純資産合計	18,546,948	18,076,693

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)	当連結会計年度 (自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)
売上高	10,875,650	11,502,261
売上原価	6,316,984	6,530,450
売上総利益	4,558,665	4,971,810
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	22,314	46,372
繰延リース利益繰入額	82,163	158,014
差引売上総利益	4,498,816	4,860,168
販売費及び一般管理費	2,552,550	2,624,928
営業利益	1,946,266	2,235,239
営業外収益		
受取利息	6,988	39,914
有価証券利息	14,277	15,153
受取配当金	7,150	7,903
不動産賃貸料	623	621
受取保険金	2,589	225
受取補償金	10,000	—
その他	5,964	3,369
営業外収益合計	47,593	67,187
営業外費用		
支払利息	584	1,018
為替差損	—	1,047
その他	2,196	1,561
営業外費用合計	2,780	3,627
経常利益	1,991,079	2,298,799
特別利益		
固定資産売却益	1,635	—
特別利益合計	1,635	—
特別損失		
固定資産除却損	4,797	3,722
特別損失合計	4,797	3,722
税金等調整前当期純利益	1,987,917	2,295,077
法人税、住民税及び事業税	674,982	737,777
法人税等調整額	△64,914	△31,432
法人税等合計	610,067	706,344
当期純利益	1,377,849	1,588,732
非支配株主に帰属する当期純利益	76,157	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,301,691	1,588,732

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)	当連結会計年度 (自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)
当期純利益	1,377,849	1,588,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,645	25,459
その他の包括利益合計	△5,645	25,459
包括利益	1,372,204	1,614,191
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,296,046	1,614,191
非支配株主に係る包括利益	76,157	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	787,299	676,811	11,817,768	△34,597	13,247,282
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		189,117			189,117
剰余金の配当			△1,279,849		△1,279,849
親会社株主に帰属する当期純利益			1,301,691		1,301,691
自己株式の取得				△239	△239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	189,117	21,842	△239	210,719
当期末残高	787,299	865,928	11,839,611	△34,837	13,458,002

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	100,648	100,648	772,919	14,120,850
当期変動額				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				189,117
剰余金の配当				△1,279,849
親会社株主に帰属する当期純利益				1,301,691
自己株式の取得				△239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,645	△5,645	△772,919	△778,564
当期変動額合計	△5,645	△5,645	△772,919	△567,844
当期末残高	95,003	95,003	—	13,553,005

当連結会計年度(自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	787,299	865,928	11,839,611	△34,837	13,458,002
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
剰余金の配当			△1,243,107		△1,243,107
親会社株主に帰属する当期純利益			1,588,732		1,588,732
自己株式の取得				△292	△292
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	345,626	△292	345,335
当期末残高	787,299	865,928	12,185,237	△35,129	13,803,337

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	95,003	95,003	—	13,553,005
当期変動額				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—
剰余金の配当				△1,243,107
親会社株主に帰属する当期純利益				1,588,732
自己株式の取得				△292
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,459	25,459		25,459
当期変動額合計	25,459	25,459	—	370,794
当期末残高	120,462	120,462	—	13,923,799

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)	当連結会計年度 (自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,987,917	2,295,077
減価償却費	80,961	69,568
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,713	24,788
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19,065	19,756
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,859	46,019
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	451	259
受取利息及び受取配当金	△28,416	△62,972
受取保険金	△1,609	△225
受取補償金	△10,000	—
支払利息	584	1,018
固定資産売却損益 (△は益)	△1,635	—
固定資産除却損	4,797	3,722
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△11,969	265,613
棚卸資産の増減額 (△は増加)	151,676	△279,272
リース投資資産の増減額 (△は増加)	△222,488	△450,211
仕入債務の増減額 (△は減少)	△253,687	△206,056
リース債務の増減額 (△は減少)	△48,725	△55,711
その他	130,757	△73,042
小計	1,843,250	1,598,332
利息及び配当金の受取額	26,523	60,111
利息の支払額	△2	△9
保険金の受取額	1,609	225
補償金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△602,342	△720,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,279,038	938,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,800,000	△8,300,000
定期預金の払戻による収入	4,600,000	7,000,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△200,000	△100,000
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	200,000	200,000
有形固定資産の売却による収入	1,635	—
有形固定資産の取得による支出	△63,486	△104,493
無形固定資産の取得による支出	△4,679	△106,215
その他	844	△5,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,265,686	△1,416,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△659,960
自己株式の取得による支出	△239	△291
配当金の支払額	△1,279,827	△1,242,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,280,067	△1,902,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△327
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,266,687	△2,380,960
現金及び現金同等物の期首残高	7,607,177	6,340,489
現金及び現金同等物の期末残高	6,340,489	3,959,529

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品グループ別の事業本部を置き、各事業本部は各商品グループについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした商品グループ別セグメントから構成されており、「理科学機器設備」、「保健医科機器」及び「産業用機器」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「理科学機器設備」は収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器等を当社が販売しております。このうち収納壁、調理台、実験台等の木工商品は(株)ヤガミファニテクが製造しております。また滅菌器等は(株)平山製作所が製造し、独自ルートでも販売しております。「保健医科機器」は、蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計等を当社が販売しております。「産業用機器」は、保温・加熱用電気ヒーターを当社が販売し、環境試験装置等を(株)平山製作所が製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

セグメント利益は、経常利益ベースの数値であります。資産については、事業セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	連結財務諸表 計上額
	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器			
売上高						
日本	4,854,540	2,244,343	1,405,075	8,503,959	—	8,503,959
アジア	396,369	1,263	1,210,553	1,608,186	—	1,608,186
その他	311,103	—	45,064	356,168	—	356,168
顧客との契約から生じる収益	5,562,013	2,245,606	2,660,694	10,468,314	—	10,468,314
その他の収益	—	407,336	—	407,336	—	407,336
外部顧客への売上高	5,562,013	2,652,943	2,660,694	10,875,650	—	10,875,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,562,013	2,652,943	2,660,694	10,875,650	—	10,875,650
セグメント利益	970,795	470,034	550,248	1,991,079	—	1,991,079
その他の項目						
減価償却費	39,564	12,306	22,398	74,269	—	74,269
受取利息及び有価証 券利息	10,142	7,649	3,473	21,265	—	21,265
支払利息	226	358	—	584	—	584

- (注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。

当連結会計年度(自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	連結財務諸表 計上額
	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器			
売上高						
日本	4,909,135	2,217,332	1,611,758	8,738,226	—	8,738,226
アジア	554,786	1,742	1,034,729	1,591,258	—	1,591,258
その他	321,051	—	72,318	393,370	—	393,370
顧客との契約から生じる収益	5,784,974	2,219,074	2,718,805	10,722,854	—	10,722,854
その他の収益	—	779,406	—	779,406	—	779,406
外部顧客への売上高	5,784,974	2,998,481	2,718,805	11,502,261	—	11,502,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,784,974	2,998,481	2,718,805	11,502,261	—	11,502,261
セグメント利益	1,158,538	544,714	595,545	2,298,799	—	2,298,799
その他の項目						
減価償却費	35,883	17,755	15,929	69,568	—	69,568
受取利息及び有価証 券利息	26,196	16,421	12,450	55,068	—	55,068
支払利息	366	651	—	1,018	—	1,018

- (注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)	当連結会計年度 (自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)
1株当たり純資産額	2,583.89円	2,654.61円
1株当たり当期純利益	248.17円	302.89円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (2025年4月20日)	当連結会計年度 (2026年4月20日)
純資産の部の合計額(千円)	13,553,005	13,923,799
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち非支配株主持分(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,553,005	13,923,799
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,245,199	5,245,136

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月21日 至 2025年4月20日)	当連結会計年度 (自 2025年4月21日 至 2026年4月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,301,691	1,588,732
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,301,691	1,588,732
普通株式の期中平均株式数(株)	5,245,260	5,245,166

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動(2026年7月8日付予定)

①新任取締役候補者

監査等委員以外の変取締役候補者

青木 淳一 (現 執行役員 AED及びマーケティング部門 マネージャー)

②退任予定取締役

監査等委員以外の変取締役

佐貫 匡

(2) 執行役員の変動(2026年7月8日付予定)

新任執行役員候補者

牛窪 直樹 (現 産業電熱システム事業部 統括マネージャー)